

福井県に渡来した ツバメチドリ

上 木 泰 男

県内の鳥の渡りの調査の途中思いがけないものにでくわすことができました。チドリ科のケリがかねてより県内で繁殖するらしいことは知られていたものの、何とか確認したいと思いつ、北鯖江の染色団地を訪れたのは四月初旬であった。草蔭でケリを待つうち近くを飛交う小さな鳥影を見る。一見してクサギと思ったが地上での姿がシギらしくないのに驚く。早速、双眼鏡で確認してみたが、……口の横の赤色部、口から喉にかけての黒い線がはっきり区別されツバメチドリと判明する。どうしてこのような四月に訪づれるのか不思議でならないが草地にくることだけは知っていただけに確認したときの感動は忘れられない。ツグミ位の大きさでとびながら空中で昆虫をついばむ姿はやはりツバメらしいものと感心した。

本県もっとも綿密な調査を実施しなければならぬものと痛感させられる。

裏日本では十年以上前に京都府下でみつがっているがその後久しく見られなかったものだけに貴重な資料の一つといえるだろう。

敦賀高校 教諭

(昨年原稿を頂きながら締め切りに遅れたので本年に廻させてもらいました)

編 集 者